

令和2年度 六郷小学校自己評価(前期) 結果・成果・課題・改善方法及び学校関係者の意見

評価目標指数(A+B=80%以上) ○:80%以上 ▲:80%未満 A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまり思わない D:思わない

項目	主な具体策	評価の観点	保護者		児童		教職員		成果(○)と課題(▲)・改善方法(☆)	学校関係者評価委員から (課題事項について)
			A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価		
1【知】 確かな学力の育成 -主体的に学び自ら考える力の育成- 【数値目標】 (1)学年×10分+10分の家庭学習に取り組む児童の割合 80% (2)漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者 80% ますー		漢字力・計算力テストについて 保:効果的である。 児:一生懸命に取り組んでいる。 教:合格者(80点)80%以上になるよう指導している。	95.0%	○	88.0%	○	75.0%	▲	○漢字力・計算力テストについては、本校の数値目標合格者(80点以上)80%以上に対して、漢字力テスト達成率79.8%、計算力テスト達成率87.8%であった。漢字力テストはわずかに80%に及ばなかったが、保護者・児童とも80%以上の高評価をしている。一方で、教員の評価は75%にとどまり、合格できない児童への指導が十分でないことを反映している。 ▲学習に意欲的に取り組んでいると回答した児童は85%であったが、保護者の目からは十分でないと感じていることがわかる。また、教員の回答は、75%であり、主体的な授業づくりが十分でないと感じている。新型コロナウイルス感染拡大防止策等による影響より、グループやペアを活用した対話的な学習や体験的な学習が十分できなかったことが原因の1つであると考えられる。 ▲家庭学習については、児童、教員は高い評価を示しているが、保護者は約60%を下回る評価であり、保護者は家庭学習の時間が十分でないと感じている。 ☆漢字力・計算力テストは、全体的に有効であると評価されているので、個別に支援しながら確実な定着を図っていきたい。 ☆学習意欲については、授業の中で感染防止策を行いながら、対話を通した課題解決学習や体験的な学習など、興味・関心を高めるような指導が必要である。 ☆家庭学習については、家庭学習の手引きを活用して、再度、具体的な進め方について指導し、学力の向上につなげていく必要がある。	○家庭学習については、目標時間の達成が主になってしまっているため、内容(質)に重点をおいた評価にした方がよい。 ・同じ宿題でも、児童によって終わらせる時間に個人差が出てくるので、早く終わる児童の保護者からは、十分ではないと捉えているのではないかと。 ・児童は目標の時間「机に向かって座っている」が、宿題が終わった後、じっと座っているだけの子もいる。 ・習い事があったり、保護者が目標の時間見ることができなかったりすることが、保護者の数字に表れているのではないかと。
		授業について 保:学ぶことに意欲的・主体的である。 児:勉強や発表を頑張っている。 教:主体的な学びの視点に立った授業づくりをしている。	71.0%	▲	85.0%	○	75.0%	▲		
		家庭学習について 保:お父さんは学年×10分+10分はしている。 児:学年×10分+10分の学習をしている。 教:学年×10分+10分の家庭学習の指導・励ましをしている。	58.0%	▲	93.0%	○	88.0%	○		
2【徳】 豊かな心 の育成- 友達と協働し、心豊かに生活する力の育成に努めますー		気持ちよいあいさつ・返事 保:お父さんはできています。 児:自分からできています。 教:指導している。	83.0%	○	85.0%	○	77.0%	▲	○あいさつ・返事については、教員が意識して指導していることで、児童の自己評価も高かった。保護者の評価も80%を超えている。しかし、教員は十分でないと感じている。 ○「安心して学校生活を送っている」ことについては、児童、保護者、教員ともにA+Bの評価が高い。また、学級の和やかな雰囲気や児童や保護者の高評価につながっていると考えられる。 ▲あいさつについては、引き続き保護者や地域の方への元気なあいさつも含めて継続した指導が必要である。 ☆児童が安心して学校生活を送れる環境は今後も維持することが必要である。気になる児童についての情報収集や共通理解、いじめチェックの活用、教育相談部会の充実を図り、早期発見、早期対応することで、子どもたちが楽しい学校生活を送れるようにしていく。 ☆教師の工夫と児童へのはたらきかけが学校行事の活性化につながり、児童の満足度につながっているため、今後も継続していききたい。	○万が一新型コロナウイルス感染が発生した場合、差別・偏見をなくすための学校の対応について ⇒学校再開と同時に、感染者や医療従事者に対する差別・偏見をもつことのないよう に指導を行ったが、引き続き今後とも指導を継続していく。 ・保護者の認識が重要ではないのか。(児童は保護者からの影響を受ける。) ・誰もがかかる可能性があるため、思いやりのある態度が必要である。 ・正しい知識の習得と指導が大切である。 (養護教諭が作成する保健だよりなどで保護者への啓発できるとよい。)
		安心して楽しく、良好な人間関係 保:学校生活を送っている。 児:友達と仲良く生活している。 教:生徒指導の充実にも努めている。	89.0%	○	90.0%	○	100.0%	○		
		自分を目標読書の推進 (1)学校が好きな児童 90% (2)読書50冊以上達成者 80%								
3【体】 健やかな体の育成- 明るく健康で、活力ある子の育成に努めますー		「早寝・早起き・朝ごはん」「歯磨き」について 保:お父さんは生活習慣が身に付いている。 児:できている。 教:健康教育の指導をしている。	80.0%	○	90.0%	○	100.0%	○	○健康教育の指導については、児童、教師ともに高評価だった。今年度は歯みがきタイムの取組が遅くなったが、家庭で生活習慣が身に付いており高評価につながっている。保護者の評価もおおむね良好といえる。 ○安全についての指導は、特に児童、教師の自己評価が高かった。避難訓練での行動や安全な登下校ができていないことが高評価につながっている。保護者の意識としては、実際にその様子を見る機会がないため十分な評価には至っていない。 ▲体力向上への取組については、児童、教師の評価が高かった。児童や教師の意識としては、意欲的に取り組んでいると感じている。引き続き児童が進んで運動できるよう指導の工夫が必要である。保護者が児童の体力向上の判断については、今年度は運動会や体力テストが実施できなかったことが大きな要因であったと考えられる。学期末PTAではスポーツフェスティバルで演技した表現運動を参観してもらったが、現時点で保護者に見てもらえる機会をもつことは難しいので、体育の学習や体育委員会で取組などを紹介するなどして児童の様子を伝える必要である。 ☆児童の体力の向上の取組については、各種より等で保護者に伝えていく。児童の意欲は高いので、引き続き体育の授業等で工夫を図っていく。	○体力向上についての保護者の評価が低いのは、コロナ禍での運動の制限もあったので、やむを得ないのではないかと。
		体力の向上について 保:進んで運動し、体力が向上している。 児:積極的に運動・外遊びをしている。 教:運動量を確認した体育学習をしている	65.0%	▲	85.0%	○	100.0%	○		
		安全(生活・交通・災害)について 保:安全な行動が身に付いている。 児:安全な生活・行動をしている。 教:危機回避できるよう指導している。	78.0%	▲	95.0%	○	100.0%	○		
		六郷小学校が好きである。			91.0%	○			○ほとんどの児童が、六郷小学校での生活に満足している。 ○新型コロナウイルス感染防止や熱中症対策にも意識して取り組んでいる。 ☆学校生活に満足していない児童が約1割いるので、教育相談等を通して本人の気持ちを理解しながらよりよい方向に導いていく。	
		コロナウイルス感染防止や熱中症対策に向けて気を付けながら過ごしている。			90.0%	○				
4 信頼と協働で結ばれた地域とともにもある学校づくり		学校・学年・保健だより等を発行(毎月1回)したり、学校ホームページに掲載	89.0%	○			75.0%	▲	○各種より、ホームページの掲載については、保護者の評価が高かった。特にホームページについては、毎日更新されている。 ○児童の見守りについては、今年度は朝の健康観察のため、学校側が参加できていないが、教員、保護者ともに高い評価だった。毎日の交通安全指導の取組、保護者・地域が連携して指導が行われていることが認識されている。 ○いじめ未然防止・早期発見についての取組は十分な評価だった。チーム指導や教育相談部会の実施や職員終会での情報交換による対応など、学校の新たな取組が効果を発揮していること、それが保護者に認知されていることが評価につながった。 ▲ホームページ更新については、更新する頻度が教員によって差があるものと考えられる。教員間で差がでないようにしていく必要がある。 ☆いじめ防止に対する取組は継続していくことが必要。学校全体でいじめ防止に取り組んでいく姿勢を今後とも継続していききたい。	○HPの更新は、担当者が決まっているのか、各自で行っているのか、 ⇒週1回程度は各自が更新できるようにしているが、得意、不得意の個人差がある。 ・HPの更新は、保護者にとってはありがたい。(学校の負担にならない範囲で継続してほしい。)
		保護者や地域住民と連携・協働して各種行事・登下校の見守り・安全パトロール等に取り組んでいる。	91.0%	○			88.0%	○		
		本校いじめ防止基本方針を理解し、いじめの未然防止・早期対応に組織として取り組んでいる。	80.0%	○			100.0%	○		
		教育相談部会を通して、児童のよりよい成長に取り組んでいる。					88.0%	○		
		チーム指導について 保:お父さんは安心して過ごしている。 児:安心して過ごしている。	90.0%	○	91.0%	○	88.0%	○		
5 学び続ける教師集団「チーム六郷」について		自身の教員としての資質・能力の向上のために、意欲をもって取り組んでいる。					100.0%	○	○教職員が、自分の力を高めていこうと意欲的に取り組んでいることがわかる。 ○教職員全員が、児童のことを考え、学校運営に積極的に取り組んでいる。	
		自身の校務分掌を中心に組織力の向上のために学校運営への参画に取り組んでいる。					100.0%	○		

保護者回答率 96% 内訳:1年生(90%/18/20人) 2年生(94%/15/16人) 3年生(100%/12/12人) 4年生(100%/18/18人) 5年生(90%/9/10人) 6年生(100%/26/26人)